

# はにい

## 「友だち新聞」

平成28年1月4日

(沖縄の小学3年生の外国語活動の授業を見学する機会を得ました。授業から学ぶことは、全国共通です。)



今日の授業、英語でインタビューをして、総合的な学習の時間に「友だち新聞」を書くという複数の領域を関連付けた取組です。

先生が、授業のめあてを板書します。「〇〇へ気持ちの良いインタビューをしよう。」

「〇〇には何が入りますか？」

「友だち。」「先生。」「後ろにいる大人の人。」

先生は、〇〇の部分に「友だち」と書き、児童に語りかけます。

「それではみんなで、めあてを声に出して言ってみましょう。」

「めあて、友だちへ、気持ちの良い・・・インタビューをしよう。」

さて、本番のインタビューです。

児童は、自分で考えた質問をパートナーにしていきます。

「What country do you like?」

「I like Japan.」

「なんで?」

「ラグビーが、かっこよかったから。」

「What alphabet do you like?」

「え～ I like 『A』.」

インタビューしている時は、紙を見ることもなく、言葉に気持ちをのせています。



質問をしたあとにうなずくなど「反応」してからメモを取っています。

インタビューのあとは、「気づき」について深める時間です。

「それでは振り返りカードに記入してください。」



たっぷり時間が与えられ、思いを巡らせながら、たくさん書いています。

発表の時間です。

「キュウリが好きと聞いて自分も好きなので少し気が合うと思いました。」

「初めて、男の子にインタビューしてドキドキした。気持ちの良いインタビューができました。」

「ゲームばかりやっているとと思ったら、野球が好きだと聞いて、バランスのよい生活だと思いました。」

「今日は、ゆうさんにインタビューしました。いろんな好きなものが分かりました。あとでどうして好きなのかもっと聞いてみたいです。友だち新聞も、ちゃんと作れそうです。」



---

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。  
ご意見・ご感想は [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)